

山行報告				報告者	棚橋久明
●山名	大姑娘山 (5,025m)			山域	中国四川省 四姑娘山鎮
●山行目的	異国の山に登る				
●山行期間	8/1～8/6			天候	晴れ時々雨(スコール)
●メンバー	CL	棚橋久明	SL	川島耕司	棚橋園子
		小倉		高藤	渡邊夫妻(旧TOKIアルパイン)
●コースタイム	<p>8/1: 二郎山(4,481m パーロンシヤン)峠付近で高所順応。9:20～11:00 午後、日隆(リロン)の裏山のお花畑でハイキング。12:15～15:00</p> <p>8/2: 日隆(リロン)から大姑娘山ベースキャンプ(3,700m)へ。8:00～14:55</p> <p>8/3: 高度順応のため海子溝(ハイツーゴウ)をつめ、山上湖・大海子(ターハイツ)など約4,000m 付近まで往復。9:15～15:00</p> <p>8/4: ベースキャンプ(3,700m)から第1 キャンプ(約4,485m)へ。8:40～12:45</p> <p>8/5: 大姑娘山登頂。第1キャンプ(約4,485m)から大姑娘山。ベースキャンプ(3,700m)に下山。4:00～13:10</p> <p>8/6: ベースキャンプ(3,700m)から日隆(リロン)へ。7:00～11:30</p>				
●現地の状況など	<p>赤、青、黄色、白のポピーを始め、日本では見られない高山植物が多種多様。4,500m付近までヤクや牛、馬などが放牧されていて、糞を踏まないで歩くのが難しかった。天気はめまぐるしく変わり、また亜熱帯に位置しており、ときおり激しいスコールにあったが、行動中は概ね晴れていた。マーモットやイノシシ位の中型の動物が見られた。</p>				
●感想、その他の情報	<p>タークーニャー山登頂成功のカギは、高所順応にある。参加メンバーの大半が、頭痛や食欲不振を訴えた。登山道自体は特段急な所もなく、誰でも歩けると思う。私は高所に強いという、何の根拠もない自信があったので、高山病の症状はほとんど現れなかった。(25歳まで喘息持ちで、気管が縮まり呼吸をするのに大変だった。それが薄い空気でも行動できると、勝手に思っていた。)以下、参加メンバーの感想を掲載します。</p> <p>①お疲れ様でした。見たこともない景観や花畑に感動した。ありがとう。</p> <p>②ありがとうございました。体調崩し、皆さんに心配おかけしましたが、お陰様で楽しい11日間を過ごす事が、できました。残念なのは、もう少し近い所でスークナヤンの山肌を見たかった事です。でも、皆さんのたくましいエネルギーを頂いた気がします。これからも自分の知らない世界を旅したいと思います。暑い日が続きますが、皆さんお元気にお過ごし下さい。ありがとうございました。</p> <p>③昨夜は、慌ただしい中お別れしてしまいましたが、共に10日間を過ごした皆様には名残惜しい気持ちがありました。与えられた条件の中で、いつも夢をもち、生活をやりくりして、多くの体験をされている皆様からは、多くの刺激と勇気をもらいました。これからも挑戦という気持ちを失わず生活していきたいです。皆様、有り難うございました。皆様の活躍をお祈りいたしております。</p>				
●事故の有無(有の場合その詳しい状況と原因、対策)	無し				
●準備段階での問題点とその対策	無し				

